

経 済 日 誌

兵庫県

2024年1月～3月

1/12 23年兵庫県の倒産 10年ぶり高水準

帝国データバンク神戸支店によると、23年の県内企業の倒産件数は、503件（前年比62・3%増）と、13年の519件以来、10年ぶりの500件超えとなった。負債総額は、大口の特別清算があったため、同16・6倍の6910億3千万円と膨らんだ。

1/19 神戸ルミナリエ 4年ぶり開催

「神戸ルミナリエ」が4年ぶりに開催された。組織委員会によると、会期中（1/19～28の10日間）の来場者数は229万8千人だった。今回は会場の分散や有料エリアの導入といった新たな取り組みが試された。

1/24 23年神戸港輸出額 過去最高 全国4位

神戸税関によると、23年の神戸港の輸出額は前年比4・5%増の7兆5120億円と過去最高額だった。輸入額は同3・7%減の4兆6927億円と3年ぶりにマイナスとなった。

1/30 23年兵庫県転出超過 全国ワースト3位

総務省が発表した23年の人口移動報告によ

ると、兵庫県は転入者9万2924人に対し、転出者は10万321人で差し引き797人の転出超過となり、全国ワースト3位であった（前年は同4位）。

2/8 港湾環境整備制度 神戸で国内初認定

神戸市は新港第2突堤で進めている再開発事業に關し、アリーナ運営会社の株式会社 One Bright KOBE の計画案を「港湾環境整備計画制度」により認定した。本制度は港湾緑地等のリニューアルを行う民間事業者に對し、港湾緑地等の貸付けを可能とする制度で、本認定は国内初である。

2/16 神戸空港開港18周年 旅客数過去最多

神戸空港は開港から丸18年を迎えた。23年の旅客数は、神戸市の従来基準（乳幼児を除く計数）で前年比27・1%増の336万7933人となり、過去最多を更新した。コロナ禍で落ち込んだ需要が急速に回復している。

2/27 県内出生数過去最少 3万4019人

人口動態統計速報によると、県内の出生数は前年比2・5%減の3万4019人と過去最少を更新した。減少率は全国2番目の低さだった。依然として少子化が続いており、今後「結婚」「出産」「子育て」に對して切れ目のない施策が求められる。

3/6 三宮再開発 JR三ノ宮駅 新駅ビル着工

JR西日本が2029年度の開業を予定しているJR三ノ宮駅の新駅ビルの起工式が

行われた。地上30階、地下2階、高さ約155メートルの複合ビルに建て替えられ、商業施設、オフィス、ホテルが入る予定。神戸市が進める三宮周辺地区再整備のランドマークとなることが期待される。

3/12 県内企業の景況判断「下降」超

神戸財務事務所が県内法人企業景況予測調査によると、1～3月期の全産業の景況判断指数（BSI）は、前期比10・2ポイント悪化の▲7・9と2四半期ぶりに「下降」超となった。製造業の悪化（16・8ポイント）が全体を押し下げた。

3/14 神戸市 帰宅困難者支援システム 国内初

神戸市は、災害時に発生する帰宅困難者をスマートフォンを使って安全に誘導する国内初のシステムを開発したと発表した。駅などにQRコードを掲示し、市の指定する一時滞在施設に案内する仕組みで、4月1日から運用を開始した。

3/26 県内公示地価 2年連続上昇

国土交通省が発表した1月1日時点の公示地価によると、県内住宅地の変動率は1・4%増（前年は0・7%増）、商業地は2・7%増（同1・3%増）で、いずれも2年連続で上昇し、上昇率は昨年より2倍だった。住宅地、商業地とも神戸、阪神地域で上昇したほか、但馬、丹波、淡路地域でも下落幅が縮小した。